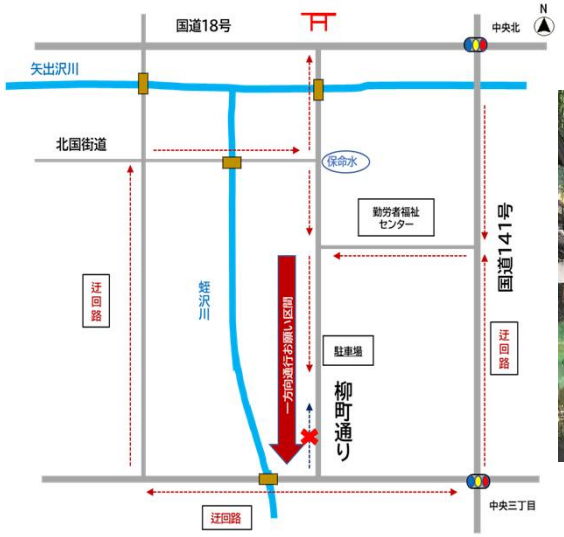
柳町一方向通行のお願いによる社会実験の概要

1.実験の目的及び内容

目的：安全快適に滞在できる道路環境整備に向けた、誘導施策による通行車両の混雑緩和。

方法：お願い看板により北側から南側に向かって車両が流れるよう誘導する。

期間：令和6年7月19日(金) ～ 9月24日(火)　終日



2.交通量調査による結果

日時：実験前　令和6年7月6日(土)・7日(日)
実験後　令和6年8月13日(火)・14日(水)
各日11時～15時に通行量をカウント

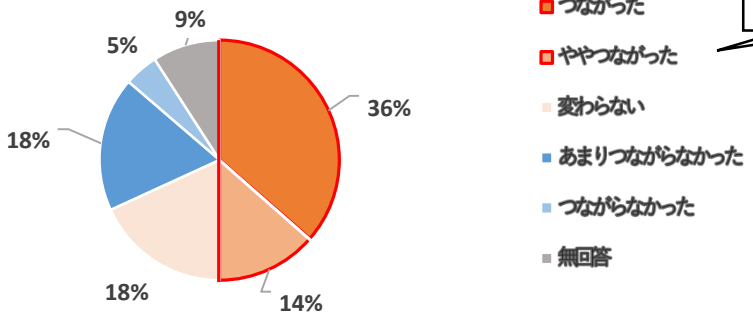
規制側は**44.1%減**
90%以上の方が協力

結果：	実験前(計307台)	実験後(計456台)
南から北方向(規制側)	155台(50.5%)	29台(6.4%)
北から南方向(誘導側)	152台(49.5%)	427台(93.6%)
すれ違い台数	89台	32台

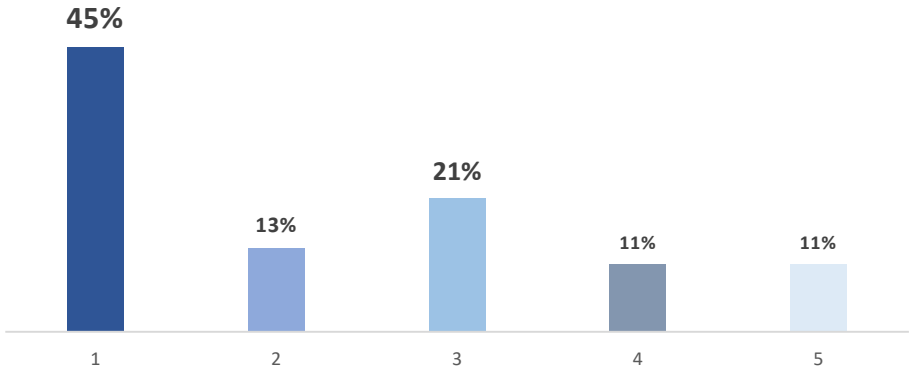
3.住民向けアンケートの結果概要

調査対象：付近住民44戸(アンケート用紙)
調査期間：令和6年10月15日(火) ～ 11月11日(月)　　**回答数：**22戸

一方向通行のお願いにより安全快適な道路環境整備につながったか(n ＝22)



柳町の安全快適に滞在できる道路環境を目指すにおいて、今後どうなって欲しいですか(複数回答)(n ＝38)

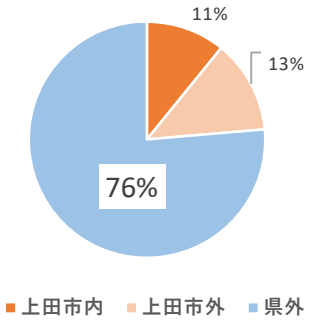


1：柳町周辺に駐車場が充実し、来訪者の車両の進入が減ると良い
2：歩行者天国(時間制限)にして、車両の進入を制限した方が良い
3：一方通行にして、車両の進入を制限した方が良い
4：公共交通を充実させ、車両での来訪を減らせると良い　　5：その他

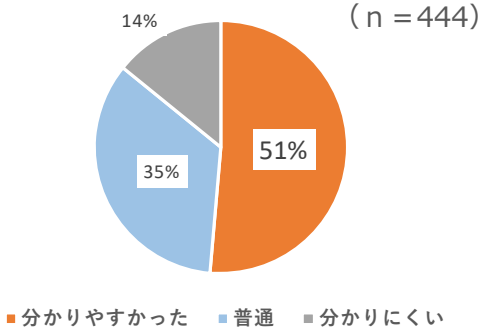
3.来訪者向けアンケートの結果概要

調査対象：柳町に来訪した方々(Googleフォーム)
調査期間：令和6年7月19日(金) ～ 9月24日(火)　　**回答数：**665件

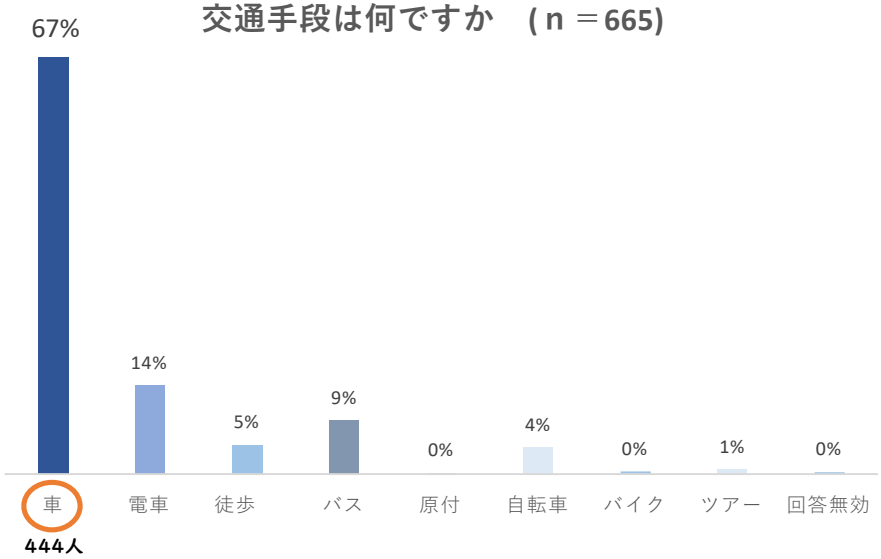
どちらからお越しですか(n＝665)



車の方へ 順路の看板は分かりやすかったですか (n＝444)

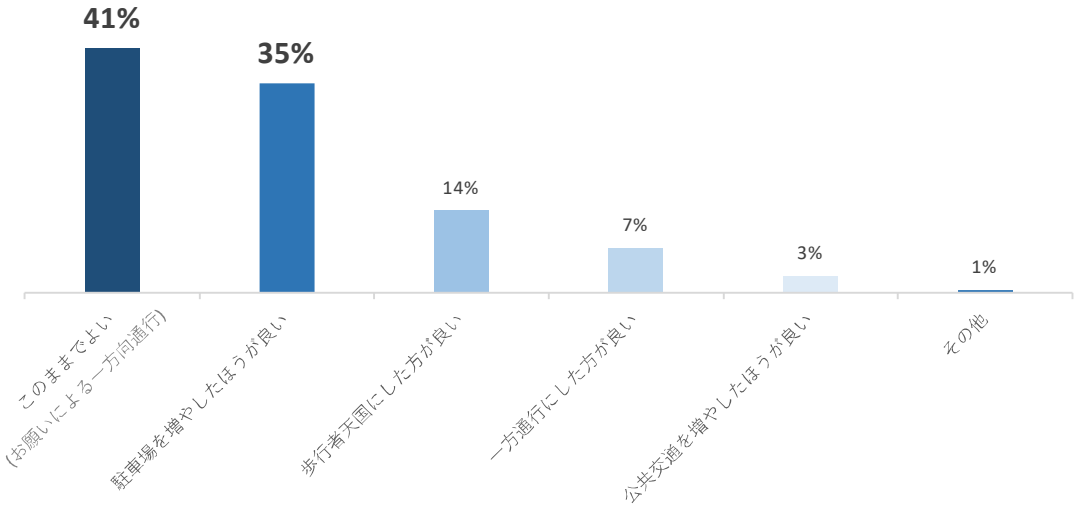


交通手段は何ですか　(n＝665)



柳町の交通状況について今後どうなって欲しいですか(n＝726)

(複数回答)



4.まとめ

・交通量調査の結果から、一方向通行の誘導としては、**かなり効果があった**と読み取れる。

・今回一方向通行のお願いにより、誘導することは成功したが、交通量自体は減っておらず「来訪者が安全快適に滞在できる道路環境整備」を達成したとは言いにくい。

・アンケートでの今後の希望からも、将来的には、**駐車場を柳町通りの外部に設ける**ことや、車から**公共交通への転換**を図るような施策を打ち出し、歩行者に優しいまちづくりにしていくことが大切であると考える。